



### 万が一の火災に備えて訓練

春の火災予防週間を前に、消防団による「令和2年度春季合同訓練」を実施しました。西大村・竹松地区を管轄する5つの分団が参加。強風で延焼の恐れがある林野火災を想定し、ホース延長や送水などの放水訓練のほか、背負い式水囊すいじょうの取り扱いを確認しました。参加した団員たちは技術を向上させるため、熱心に取り組んでいました。



### 未来を担う青少年の発表

「地域ぐるみの青少年健全育成活動を求めて」をテーマに、「第39回大村市青少年健全育成研究大会」を開催しました。各小中学校から選ばれた小学生5人、中学生2人が、将来の夢や目標、郷土のためにできることなどを発表。地域の大人が見守る中、堂々たる様子で発表する子どもたちの姿には、たくましさを感じられました。



3/1

### 新型コロナウイルスに対する体制を強化 新型コロナウイルス感染症対策室新設

市は新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に向けた体制を強化するため、国保けんこう課内に「新型コロナウイルス感染症対策室」を新設しました。室長を含め職員6人と会計年度任用職員の看護師や事務職3人の計9人体制で業務を開始。今後、ワクチン接種に向けて準備を進めていきます。

2/26

### 一人一台端末を活用した授業 GIGAスクール構想を受け試験運用開始

校内無線LANの整備と児童生徒一人一台端末の配備を令和3年度から本格運用する前に、ほとんどの学校で試験運用を開始しました。萱瀬中学校では萱瀬の魅力を効果的に表現することをテーマに公開授業を実施。黒板前のモニターにはグループごとに共同編集で作成した資料が映し出され、生徒たちは楽しそうに授業に取り組んでいました。